

事業所名		子ども支援室みらい 城南教室		放課後等デイサービス 支援プログラム		作成日		7	年	10	月	1	日	(別添資料1)	
法人（事業所）理念		一人ひとりの「きらり」と光る個性を生かし「ありがとう」の言葉と笑顔あふれる社会の実現に貢献します													
支援方針		①明るいまえ図と一緒に描く ②自己肯定感を育てる ③「明日もみらいへ行きたい」を目指す④行動に焦点を当てる ⑤みんなでH a p p y 〔三方良し〕 ⑥仲良くなる〔信頼関係〕 ⑦黒子に徹してサポートする〔適切な質・量の支援〕													
営業時間		9時00分		18時00分		送迎実施の有無		○あり なし							
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の定着と自己管理能力の向上 ・あいうべ体操 ⇒ 呼吸機能と口内環境を改善するために口周りの筋肉を鍛えます。 ・歌 ⇒ 日常生活でのリズム感や周りと歌声を合わせることで協調性を養います。 ・パーテーションの設置 ⇒ 集中できる環境を作ること、感情の安定やストレス管理に役立ちます。 ・タイムタイマーの使用 ⇒ 集団活動での時間管理を意識し、協調性を育みます。 ・身だしなみのチェック（SST） ⇒ 鏡などを使って自分で身だしなみを整えられるようにします。													
	運動・感覚	身体機能の発達と感覚統合の促進 ・体幹トレーニング ⇒ V字バランスなどで体幹の筋力を強化し、姿勢を改善します。 ・ジャンプトレーニング（前後左右） ⇒ 姿勢保持や上肢・下肢の運動改善、心肺機能の向上を図ります。 ・運動プログラム ⇒ 筋力や体力、バランス感覚を鍛え、姿勢の保持や体力向上を目指します。 ・ペットボトルダーツ・お手玉 ⇒ 手先の器用さと視覚機能を向上させます。 ・魚釣りゲーム ⇒ 釣り竿を使った動作で手先の器用さと視覚機能を高めます。 ・軽作業（ワーク） ⇒ つまむ、折るなどの動作で手先の巧緻性を向上させます。 ・LEGOブロック ⇒ 組み立て・分解を通じて手先の器用さや指の筋力が向上します。 ・鬼ごっこ・サッカー（屋外） ⇒ 全身を使った運動で心肺機能や筋力が向上します。													
	認知・行動	認知機能の発達と主体的な行動力の育成 ・フラッシュカード ⇒ 語彙力や記憶力の向上をサポートします。反射的な反応力が養われます。 ・指の体操 ⇒ 見本に合わせた動作を通じて指先の感覚を鋭くし、手と目の協調を促進します。 ・数列・数量 ⇒ プリントや知育教材で数学的な思考力・計算力を強化します。 ・折り紙・製作 ⇒ 空間認識力・集中力を育て、問題解決能力を養います。 ・軽作業（計量・ビーズ選別） ⇒ 数量や物の大小の区別が理解できるようになります。 ・SST（視覚教材） ⇒ 情報の整理がしやすくなり、場面に応じた解決策を考える力が向上します。 ・役割分担（レクタイム） ⇒ 各自の役割と責任を明確にし、問題解決能力と自己管理能力を育てます。													
	言語 コミュニケーション	コミュニケーション能力の発達と感情表現力の育成 ・感情表出トレーニング ⇒ カードや絵本などの視覚教材を使い、自分の感情を認識・表現する力をサポートします。 ・文字の読み・書き ⇒ 語彙力や文章理解力を高め、物語の流れや行動理由を把握できるようにサポートします。 ・トランプ・カルタ・すごろく ⇒ 人との相互作用を通じて共同注意やコミュニケーション能力を高めます。 ・ごっこ遊び（LEGOブロック・ままごと） ⇒ 場や相手の状況に応じた主体的なコミュニケーションの練習の場となります。 ・SST ⇒ 様々なシチュエーションでの他者の気持ちを考え、「どのような言葉かけが良いか」を学びます。													
	人間関係 社会性	社会性の発達と対人関係スキルの向上 ・SST（ソーシャルスキルトレーニング） ⇒ 写真や文字などの視覚教材を使用し、他者との関わり方を学びます。 色んな場面を想定し「こんな時はどうすればよいか」ロールプレイを通して役化できるようにします。 ・テーパーゲーム（UNO・オセロ・トランプなど） ⇒ 集団に参加するための手順・ルールを理解し、相互理解や仲間づくりの場となります。ルールを守ることや遊び道具の使い方を楽しく学べます。 ・レクタイム（中高生） ⇒ 他者との関わりを持ち、コミュニケーションを取りながら協力できる環境を作ります。 「ナイス。」などの声掛けを通じて相手を元気づけ、マナーを守って行動することを学びます。													
家族支援		・保護者からの相談に応じ、子どもの特性に合わせた家庭での対応方法や環境調整についてアドバイスします。・定期的に「保護者懇談会」や「子育て学習会」を開催し、学校・家庭での困りごとを共有する場を提供します。・きょうだい児を含む家族全体への支援として、経験豊富な「先輩ママ」との情報交換の場を設けます。				移行支援		・学校や関係機関と連携し、日中活動から地域生活・就労へのスムーズな移行を支援します。・中学・高校への進学時には学校訪問・情報共有を行い、新しい環境への適応を支援します。・卒業後の進路（就労・生活介護等）を見据え、必要なスキル習得に向けた支援を行います。							
地域支援・地域連携		・地域の学校・医療機関・相談支援事業所などと連携を取りながら、子どもの育ちを支援します。・農業体験や地域行事への参加を通じて、地域とつながりながら社会体験の場を広げます。・ダンスチームやパソコン教室など、地域の外部講師を招いた専門的な体験活動を実施します。				職員の質の向上		・放課後等デイサービスガイドラインを定期的に確認し、職員間で共通理解を深めます。・実際のケースをもとに事例検討会を行い、対応方法や支援の工夫を学びます。・外部研修に積極的に参加し、支援の質の向上を図ります。							
主な行事等		夏祭り・空手道体験・ダンス体験・木工体験・絵のワークショップなど多様な活動を実施します。 公共交通機関を利用した外出体験（社会参加力の育成）。農業体験（地域と連携した季節の活動）。 節分・ひな祭り・クリスマス会など季節に合わせた活動を日常支援に取り入れます。 外部講師との触れ合いを通じ、社会性やコミュニケーションスキルの向上を図ります。													